

法体系の違いからみた外国商標制度の特記事項とリスク対策

難易度
中級

～国際登録、米・欧・中・各国商標制度の特殊性と対応策～

2020年7月17日(金) 10:00～17:00

講師 青木 博通 氏 ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士



◆経済のグローバル化により、大企業のみならず、中小企業も海外進出を余儀なくされています。海外での商品の生産、販売には自社商標の登録が不可欠です。

◆本講座では、まず、外国商標出願、調査の基本について、ハウスマーク、プロダクトマーク、スローガン、キャラクターの特殊性を踏まえて解説します。次に、法体系の違い、法改正の動向を踏まえて、各国商標制度の特記事項と対応策について、最新の改正情報を含め解説します。

◆日本と全く異なる法体系(使用主義、フロード、消費者保護)からなり、注目される最高裁判決が続く米国、模倣品の多い中国、27か国をカバーする欧州連合商標制度については、中間処理の方法も含め、特に詳しく解説します。また、英国のEU離脱、ミャンマーにおける商標制度の制定などを踏まえた出願戦略についても言及します。

◆商標の国際登録制度「マドリッド協定議定書」については、最近顕在化してきたリスクとその対応策、ハーグ協定(意匠の国際登録制度)との比較と活用法についても言及します。

◆最後に、復習の意味で、外国商標制度の項目毎(横串)に各国制度をテンポよく紹介します。本講座を受講することにより、各国バラバラな外国商標制度について法体系を踏まえて立体的に効率よく学習することができます。

<解説内容>

1. 外国商標出願の基本
(ハウスマーク、スローガン、プロダクトマーク)
2. 外国商標調査の基本(識別性、類否判断)
3. 外国商標出願のルートと出願戦略
4. 法体系の違いからみた外国商標制度
5. 各国商標制度の特記事項と対応策
米国、カナダ、欧州、ロシア、中国、アジア
(ミャンマー)、オセアニア、中近東、アフリカ、北米、中南米
6. マドリッド協定議定書のリスクと対策
(1) マドプロのリスクと対策
(2) マドプロとハーグ協定(意匠の国際登録制度)の比較と活用法
7. 英国のEU離脱と出願戦略
8. 他の法律との関係
(1) 不正競争防止法 (2) パッシングオフ
(3) 著作権法 (4) 意匠法 (5) 民法
9. グローバル企業の商標戦略
10. 項目別各国制度のまとめ

◇弁理士の皆様へ この研修は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本講座を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として5.5単位が認められる予定です。

◆会場 虎の門三丁目ビルディング1階 研修室 (東京都虎ノ門3丁目1-1)

◆定員 40名

◆受講料 会員17,500円・一般20,000円 (※消費税込み)

◆申込 FAXもしくは、HPからお申込下さい。(http://www.jiii.or.jp「知財 ist 研修・スポット講座他」)